

京都丹波トライアスロン大会 in 南丹 (2019年版)

ローカルルール

- JTU 競技規則、京都丹波トライアスロンローカルルールを適応する。
http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf
- 計測 自動計測（アンクルバンド）を採用
- 健康・安全管理について周知する必要があるため、前日の「メディカルレクチャー」には必ず出席すること。不参加の場合は失格となる。
(出欠のチェックを行いますので、必ず参加してください)
- 競技ルール及びコースについては大会ホームページにて各自で確認し本番に備えること。
 - *メディカルレクチャー終了後競技説明会を実施（任意）。
 - *スプリント競技出場者は、競技説明会参加義務。
- スイムコース前日試泳は禁止。
- バイクコース試走時は必ずヘルメットを着用し、道路交通法を遵守の上走行。
- 【ス イ ム】

1. 各競技スケジュールを確認し、スイムアップ～スタートまで十分余裕をもって準備すること。
2. ウォーミングアップ:スタンダード スタート地点～下流 50m まで往復コース反時計回り
スプリント・スーパースプリント 各スタート地点周辺 30m まで往復コース反時計回り
3. 招集・スタート地点はそれぞれ異なる。
 - *スイムコース図を確認
4. スタンダードは3 ウェーブ方式です。自身のスタート時間を守ること。
5. 故意に他の選手の体の乗りあげや迷惑行為が確認されたらペナルティーの対象になる。
6. 競技中にウェットスーツを脱ぎ捨てたり、故意にキャップを脱いだりするとペナルティーもしくは失格の対象になる。
7. 危機回避等でコースロープ、コースブイ及び監視船につかまって休息できるが、それにつかまっただけの移動は出来ない。
8. スタンダード競技については2周目終了地点の関門を設ける。
 - *全てのウェーブ共通時間

スイム競技関門閉鎖ポイント	制限時間
スタンダード 1,000m地点(2周終了地点)	8:10

9. フィニッシュ関門地点
全競技カテゴリー・・・スイムフィニッシュ上陸地点

● 【トランジションエリア】

1. 選手、スタッフ以外はトランジションエリアへ立ち入り出来ない。トランジションエリアでは支給されたトランジションバックにて自身の持物を管理すること。トランジションバックに入らない物及び競技と直接関係のない物(クーラーボックス等)の持ち込みは出来ない。審判員が発見した場合はこれを撤去することが出来る。
2. 各競技のトランジションエリアセッティング時間を確認すること。バイクと競技用具の引き取りは、13時00分頃から14時00分頃とする。盗難防止と間違いをなくするため、IDリストバンドとバイクステッカーを照合して引き渡しを行う。

● 【バ イ ク】

1. スタンダード・スーパースプリント・スーパースプリントリレー競技

ア J T U競技規則内の「第8章 バイク(自転車)第3節ドラフティング禁止レース」参照

イ 走行中は常に自己の安全速度を守る。特にキープレフトを厳守し、お互いのドラフトゾーン確保及びブロッキング禁止を厳守する。追い越しは後方を確認し、声を掛けて右側から追い越し、コーナーでの追い越しは禁止するとともに、センターラインをはみ出での追い越しは失格にする。また、追い越される選手は走行ラインを変更しない。

ドラフトゾーン・・・バイク前輪先端基準～後方10m

追い越し時間・・・前方の選手を追い越すときは、ドラフトゾーンから前方選手の前輪先端から後方10mを20秒以内。

ウ 緊急車両走行時は、減速し、左側徐行、または指示に従い停止すること。いかなる場合においても、救急車両の追い越しは禁止とする。

エ 音楽を聴きながらの競技は禁止する。

オ サイクルコンピューターの装着は推奨とする。

2. スプリント競技(ドラフティング許可レース)

ア J T U競技規則内の「第4節ドラフティングレース(ドラフティング許可レース)」参照

*下記「器具・機材」参照

イ バイクを同様にL a pされた(周回遅れ)選手は失格となる。

*歩道を使って会場に戻る。

ウ 異性間のドラフティングは禁止。*即失格

● 【ラ ン】

1. スタンダード・スーパースプリント及びリレー選手は、周回の折り返しで「周回チェック」用の輪ゴムを必ず受け取ること。
スプリント参加選手はTOによってチェックを行う。
2. 応援者の並走は認めないが、ゴール100m手前の芝生から同伴者並走によるフィニッシュ

は認める。ただし同伴開始地点でスタッフは配置しない。

3. 音楽を聴きながらの競技は禁止する。

● 【スーパースプリント リレー】

「スタート」

375m

スイムコース☒参照

「バイク」

10 kmコース 1 周回

「ラン」

2.5 kmコース 1 周回

「次走者」 *待機エリアにて下記の装備で待つ

- ① バイク担当・・・装着可能アイテム（靴下・シューズ・グローブ）

*バイク終了後ラン担当にレースを引き渡す際は、バイク・ヘルメットは所定の位置に収めて交代するものとする。

- ② ラン担当・・・ランニング用具一式

「バトン」

アングルバンド（計測器 足首に装着）をバトン代わりにする。未装着の場合は測定不能になるため失格。

● 【器具・機材】

「スイム」

1. キャップは支給されたものを着用。2 重使用の際は、外側に支給されたキャップを着用。
2. 全競技、ウエットスーツの着用について下記の通り定める。

水温	スタンダード	スーパースプリント スーパースプリントリレー
18 度以上	推奨	推奨
18 度未満	義務	義務

水温	スプリント
20 度以上	禁止
18 度未満	義務

※ウエットスーツ着用について、全選手上記ルール適応となる。

3. ゴーグル、ノーズグリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の着用を認める。

「バイク」

1. 自転車はロードレーサーを基本としますが、スーパースプリントディスタンス・スーパースプリントリレーはマウンテンバイク・クロスバイク等のスポーツサイクルでも許可します。但しスタンド・かご・反射板・などの突起物は取り外すこと。

※「ロードレーサー」とは・・・ドロップハンドル型で高速走行性能を優先された自転車を指す。

2. バイク・ヘルメットセルフチェック表を基本に、大会までに各自で整備、もしくは最寄りのバイクショップで調整を行い、不備のない状態にしておく。大会前日当日のオフィシャルメカニックを設置するが、当日混み合うと対応ができない場合もある、事前に入念な整備をおこなうこと。

※前日車検はないが、バイク・ヘルメットセルフチェック表を参考に各自整備を行うこと。

※スプリント参加者は前日レギュレーション有

3. 競技中のパンクに備えて、スペアタイヤ及びポンプの携帯を推奨。

4. 「スプリント競技」に出場する全選手

競技自転車について【JTU 競技規則第 100 条、第 79 条、第 43 条、一部 ITU 競技規則準用】

ア エアロバー先端は、前輪ハブ軸より 15cm 以上前に出ていないこと。さらに、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出ていないこと、硬質なもので連結すること。ビニールテープ等による先端の連結は許可できない。

イ ホイールはスポークが 20 本以上のものとし、ディスクホイール、バトンホイールは禁止。

5. ヘルメットについて【JTU 競技規則第 85 条 競技規則準用】

ア バイク競技では、常にバイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い正しく着用していなければなりません。エアロタイプ（後頭部部分が尖ったタイプ）のヘルメットは禁止。

6. バイクコースは周回コースの為、サイクルコンピューターの使用を推奨。

7. バイクボトルは自転車専用ボトルが望ましい。ただしペットボトルタイプで蓋部分が、直接飲用できるように付け替えタイプであることと、ボトルゲージはペットボトル専用でジャストフィットしているものであれば許可する。

8. バイクコースにはエイドステーションを設けていないため、500 ml のバイクボトル 2 本携帯することが望ましい。

● 【エイドステーション】 *水

スイムスタート前・スイムフィニッシュ付近・ランコース 2 か所・フィニッシュ地点にエイドステーションを設置する。

*エイドステーションはランコースにのみ設置する。(バイクコース上の設置なし)。

*近畿オープン選手権・全国高等学校選手権はペットボトルの提供、それ以外は紙コップの提供となる。

● 【**関門地点**】

1. スイム 上陸後

2. バイク 次周回制限「バイク西田折り返し地点」

(スタンダード3周目終了時・9:44

スプリント2周目終了時 12:32)

全競技 トランジションエリア出口 (ラン側)

*ただし、制限時間オーバーしている場合はコース上で DNF 宣告有

3. ラン フィニッシュ地点

● 【**投棄**】

※ エイドステーションで提供されたものに限らず、(選手持ち込みの補給食等)についても
回収ボックス付近もしくはトランジションの自身のエリア外での投棄はペナルティ対象

● 【**失格・リタイヤ**】

制限時間：定められた時間内に関門(次周回関門)及びフィニッシュできない場合は DNF と
なる。

リタイヤ：身体・器具(バイク)などの不調などによるリタイヤはスタッフおよび審判に告
知すること。特にスイム競技中に救護目線で著しく泳ぎに問題がある場合は、ラ
イフセイバーの権限で競技を中止させることがある。

援 助：競技中は他者の援助を受けてはならない。必要な装備は各自携帯して競技に望ん
でください。

● 【**抗議**】

1. 審議委員会は実行委員長、審判長、技術代表で構成され、抗議についてはJTUルールに準
拠する。
2. 選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、また自らの違反について、
審議委員会に抗議を申し出ることが出来る。

※抗議(異議)申し立ては『速報』の掲示後30分以内とする。

※『公式記録』は記録を精査したあとにHPでの掲載

● 【**本人確認**】

前日の受付から、大会が終了するまでIDリストは外さずに装着のこと。

● 【**ウェア**】

前ファスナー付きのレースウェアは原則禁止。やむを得ず前ファスナー付きウェアを
着用の場合は、ファスナーを閉じて競技すること。

※特にスーパースプリントリレー参加者はこの限りではない。

※スプリント出場選手は前ファスナー着用禁止とする。

● 【競 技 変 更】

悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合がある。

競技変更の場合のスケジュールについては事前に大会 HP を確認のこと。

案内については大会ホームページ「お知らせ」及び大会専用「Facebook」当日「最終受付」にて行うため、いずれかの方法で各自情報入手に努めること。そのほかの詳細情報については大会本部掲示板にて告知する。

● 【走 行】

1. 定められた走行区分を走らなければならない。また、交差点では交差点の中心から右に出るはならない。
2. 選手が走行不能（バイク落車含む）となった場合や、立ち止まったり、倒れた状態になった場合、審判・スタッフ等関係者によって、道路の左端に移動させることがある。その後、競技を続行させるかどうかは審判長・医師の判断により決定する。
3. 選手が途中で競技を続行できなくなったとき、または、競技を中止させられた場合は DNF とする。リレー競技については、原則として DNF とするが、その種目以外の競技続行を認める場合もある。

● 【荷物預かり】

調整中

● 【参加費】

大会参加費には、大会準備費用・参加賞と傷害保険料等を含む。なお、参加費お支払いの際には、オンライン手数料が別途かかる。

● 【返 金】

悪天候などにより、競技距離を短縮・変更・中止する場合がありますが参加費の返金はできない。また、一度納入された参加費はキャンセル期間を過ぎた後、いかなる場合でも返金できない。また、レイトエントリー（2次募集から申し込み）をされた方のキャンセルは一切受付できない。